

PHOTO WORK

佐賀



「建設現場見学」

六角川の工事現場を訪れ、普段見ることのできない重機や工事の様子を写真に納めました。ここは2021年豪雨被害を受けた場所で、河川の流れを良くする工事が行われていることに安心と喜びを感じました。

武雄高校／2年
山北 和佳さん



「作戦会議」

作業前に作戦会議をすることで連携がとりやすくなり、安全にそして迅速に作業ができると知りました。職人の人たちが集まって会議している様子はとてもかっこよく、働いている大人の真剣さが伝わってきました。

唐津西高校／2年
松島 暁生さん



「ドシャ」

バックホウが、ネットの袋に石を流し込む様子を撮影しました。シャッタースピードを遅くすることで、石が落ちる際の迫力と、土煙が上がる現場作業の動き、空気感を表現。

大分上野丘高校／2年
水上 蒼斗さん



「まるでポスター！？」

国土交通省の方が作業を見守りながら、会話をしているところを撮影。見守る後ろ姿に表れる、信頼感やかっこよさに「まるでポスターみたい」と感じそのままタイトルにしました。

大分上野丘高校／1年
清國 莉那さん



「明日へ」

現場の人たちの優しさも感じ、ものづくりの良さを再認識しました。復旧工事が進む現場の様子を伝えることで、地元の人に明日に希望があることを伝えたい。

武雄高校／2年
山下 颯彌さん

PHOTO WORK

大分



「協力」

工事は個人プレーでなく、みんなで協力して行うものだというメッセージ性を示したいと思い、重機に乗っている人に指示を出し、協力し合っている様子を撮影しました。

大分上野丘高校／2年
椿原 拓真さん

企画・監修



デミー博士

出水 享氏

土木が『憧れの職業ナンバー1』目標に！

青春ビルドプロジェクトのリーダーを仰せつがっているデミー博士です。本プロジェクトは、普通科高校写真部の生徒が『はじめて見た土木の世界』をキリ撮った写真を通して、土木の魅力を発信する点に特徴があります。

効果としては、①写真はフィルターがかかっていないため市民に近い目線で土木を発信できること②写真やその感想は土木で働く方々への活力剤となり、失いかけた仕事の誇りを取り戻すきっかけになること③プロジェクトを通して普通科高校の生徒に土木を

伝えることができること—などです。

さらに、本紙のように新聞掲載されることで生徒のモチベーションが向上し、土木への親近感が増すことと思います。以上のことから、本プロジェクトは『みんなが HAPPY! になる土木の広報』だと自負しております。

私の目標は、『2030年までに土木が憧れの職業ナンバー1』にすることです。この目標に向かって土木を応援していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

今日も明日も一日で安全に！

全48作品
随時公開中

Instagram

「青春ビルドプロジェクト」
インスタはじめました

@seishunbuildproject

高校生たちが土木の新たな魅力を発信！

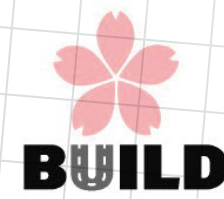
青春ビルド
プロジェクト

PHOTO WORK

長崎



「相棒を飛ばす」

ドローンは土木の仕事に欠かせないものと聞き、それを自在に操る彼女の姿はとてもしっかりよかったです。人とドローン、互いが仕事に欠かせない存在であることから、相棒のようだと思いました。

諫早高校／2年
山口 俊平さん



「猛暑の作業」

暑さに負けずに汗を流して作業をされている姿がカッコイイと思い、その姿をあらわすことができるように撮影しました。

諫早高校／1年
荒木 楓雅さん



「伝わる熱意」

実際にバックホウを操縦してみたところ、細かい操縦が難しかったです。土木で働く方々は、毎日軽々と重機を操縦していてかっこよかったです。

大村高校／2年
出田 奈未さん



「夏の作業日」

「今日も頑張るぞ」という意気込みが伝わってきて、朝礼後に作業内容を確認し、一斉に持ち場へ向かっていく姿が印象に残りました。

大村高校／2年
井上 哩菜さん



「指差し確認」

指差し確認を行う仕事時の姿。一方で、休憩時間は皆さん仲がよくて柔らかな雰囲気が微笑ましく、時間のメリハリがあるのだと感じました。

長崎東高校／2年
村山 昊太郎さん



「熟練の背中」

浚渫船中央部のクレーンに、私たちを乗せた状態でも普段通りに工事を進める後姿がとても輝いて見えました。

長崎東高校／2年
吉田 空汰さん

＊ 本プロジェクトならびに撮影会、展示会にご協力賜りました皆様へ、心より感謝申し上げます。